

A.V.F.止血クランプ 丸型

【警告】

「患者が不穏な状態」、「デバイスを観察できない」、「皮膚の発汗や濡れで装着し難い」などデバイスが外れる可能性がある場合は、「A.V.F.止血クランプ」を使用しないでください。

「A.V.F.止血クランプ」の取り外しの際は、一般的に承認されている血液や体液の取り扱いに関する注意事項及び、感染予防対策にしたがってください。

デバイスを前腕に装着ときは、尺骨動脈の拍動を触知できることを必ず確認すること。

止血操作中に手の鬱血（暗赤色、冷感、腫脹など）や、橈骨動脈閉塞、尺骨動脈末梢の狭窄、止血部分の出血や血腫、疼痛、痺れなど異常があれば直ちにデバイスを外すこと。

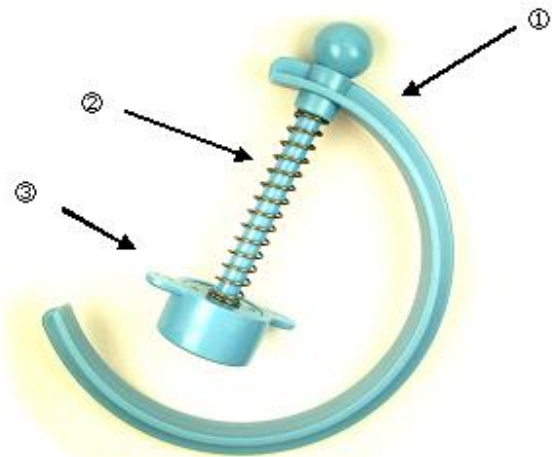
必要と思われる場合は、「A.V.F.止血クランプ」が動かないように皮膚にテープなどで固定してください。

「A.V.F.止血クランプ」にアルコールやアセトンなど揮発性溶剤への浸漬や、薬剤によるふき取りをしないでください。部品の結合性や「A.V.F.止血クランプ」本体の強度を弱めます。

「A.V.F.止血クランプ」の装着及び、取り外しの際は、カテーテル・チューブに触る操作を最小限にしてください。

「A.V.F.止血クランプ」の装着性や本体に壊れなど異常がないことを使用前に点検してください。

突起部:60 mm
重さ:56 g



部品番号および名称	原材料
① 本体(半円状の支え部分)	ポリカーボネート
② スプリング	ステンレススチール
③ 押え棒(押圧部分)	ポリカーボネート

【禁忌・禁止】

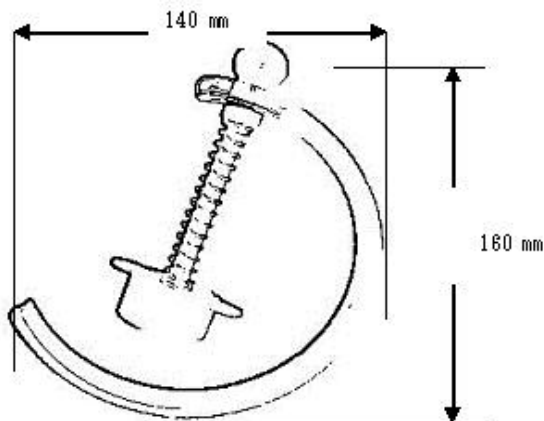
本品は未滅菌品であるため、清潔領域では使用しないこと。

本デバイスを血液透析終了後の止血以外の目的に使わないこと。

前腕部以外の部位に使わないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状



幅寸法
フレーム幅:19 mm

作動・動作原理

半円状の本体に可動する押え棒の二つの部品で構成されている。

押え棒の周囲に圧縮スプリングがついている。

「A.V.F.止血クランプ」は、スライドで可動する押え棒のスプリング押圧力と、半円状支えで腕を挟み、止血する箇所を押圧固定する。

【使用目的、効能又は効果】

透析終了後の止血に用います。

使用目的

「A.V.F.止血クランプ」は透析終了後に用いる止血専用の器具です。

効能又は効果

指圧に近いピンポイント押圧できるので、シャントの止血を安全に行えます。患者自身が片手に操作できます。

効能又は効果に関連する使用上の注意

デバイスは非発熱性です。

本品は、機械的に止血を補助するデバイスです。

止血する部位や血管の個人差で不十分な止血も予想されます。血管の解剖学的根拠、安全な使用法、合

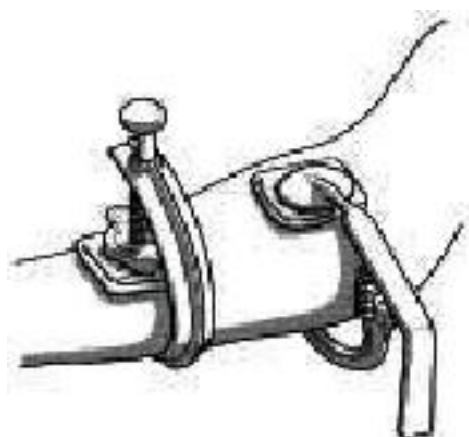
取扱説明書を必ずご参照ください。

併症に関する知識を有する訓練を受けた医療従事者の指導下で器具を操作してください。

「A.V.F.止血クランプ」は感染キャリアー拡散防止、交差感染防止のため、同じ本品を複数の人で共有して使うことを避けてください。

【操作方法又は使用方法等】

1. 透析カニューレを抜管したあと、折りたたんだガーゼなどを刺入部に置く。
 2. 止血器具を上げて腕に差込み、押圧部をガーゼの上から慎重に置く。
 3. 器具がずれないように腕を置いて安静にする。
- 「A.V.F.止血クランプ」の使用方法的詳細については、イラストをご参考ください。



【使用上の注意】

「A.V.F.止血クランプ」本体や構成品を改造しないでください。

重要な基本的注意

前腕抜針後の止血以外の目的に使わないこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

貯蔵・保管方法

折り曲げや、強い力を与えないで室温（常温、常湿）にて保管し、高温多湿や直射日光を避けて下さい。

使用期間

非滅菌品のため、使用期限の記載はありませんが、本製品に汚れ、変形、キズ、ヒビ、破損、把持部の磨耗、その他の機能低下、動作の異常がある場合は、廃棄してください。

また、経年劣化等により本製品に明らかな疲労が見られる場合は、新しい製品と交換すること。

【包装】

1 個/包装

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者
メディカルテクノロジー有限会社

〒351-0035 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘 4 丁目 15 番 8 号
電話番号 048-486-2200

外国製造所
HENRY SCHEIN INC.
ヘンリースチェイン社
アメリカ

取扱説明書を必ずご参照ください。